

日本農業市場学会 Newsletter

●発行：日本農業市場学会事務局

〒890-0065 鹿児島県鹿児島市郡元 1-21-24

鹿児島大学農学部 農業市場学分野 気付

TEL/FAX : 099-285-8627

Mail : yutaka@agri.kagoshima-u.ac.jp

Contents

- 2017年度岩手大会報告
- 2018年度大会について
- 学会賞の推薦について
- 2018年度日本農業市場学会研究助成の募集について
- 日本農業市場学会・研究叢書の企画募集について（継続）
- 日本農業市場学会公開特別研究会について
- アドバイザー制度について

2017年度岩手大会報告

2017年7月1日（土）・2日（日）に岩手大学にて2017年度大会が開催されました。1日のシンポジウムは「農政の大転換と市場・流通再編」をテーマに、4報告、3コメントが行われ、熱のこもった議論がなされました。2日の個別報告は、7会場・47報告でした。また、同日の個別報告終了後には、ミニシンポジウム「三陸被災地の水産業の復興過程と変化を考えるー流通と加工を中心にー」が開催され、活発な質疑応答がなされました。大会参加者は142名でした。

大会開催にご尽力いただきました佐藤和憲実行委員長、横山英信会員をはじめとする現地事務局を担当された関係者のみなさまに厚く感謝申し上げます。

1日の総会終了後には、以下の会員に学会誌賞が授与されました。

◆ 学会誌賞（湯澤賞）

清水池義治 会員（「牧草サイレージの商品化構造ー北海道北部のTMRセンターを事例としてー」、第25巻第4号掲載）

2018年度大会について

次回の2018年度大会は、2018年7月7日（土）・8日（日）に琉球大学（沖縄県）で開催を予定しています。

学会賞の推薦について

2018年度の日本農業市場学会賞（学会賞・学会奨励賞）の推薦を受け付けます。

（学会賞選考委員会委員長 小野 雅之）

(1) 受賞候補の条件

◇日本農業市場学会賞

2015年1月1日から2017年12月末までに公刊された学術論文または単行本。本学会会員であれば候補者の年齢は問わない。

◇日本農業市場学会奨励賞（川村・美土路賞）

2016年1月1日から2017年12月末までに公刊された学術論文または単行本。ただし、2018年4月1日時点で満40歳未満の会員に限る。

(2) 学会賞候補を推薦できる者

1名ないし複数名の本学会会員

(3) 推薦の方法

推薦者から学会賞選考委員長にあてに、A4用紙に横書きで下記の事項を記載の上、提出する。

- ① 選考対象の論文名又は単行本名（いずれも発行所、発行年月日、論文の場合は掲載誌の名称・巻号を記載）
- ② 受賞候補者の氏名
- ③ 候補者の所属機関
- ④ 候補者の略歴
対象の業績が複数、または業績が共著であり審査対象者が複数の場合、①または②～④を繰り返して記入すること
- ⑤ 同論文または単行本の要約（2,000字以内）
- ⑥ 推薦者
- ⑦ 推薦理由

(4) 推薦状および対象論文（単行本）提出先

〒657-8501 兵庫県神戸市灘区六甲台町1-1 神戸大学農学部 食料環境経済学講座
小野 雅之 宛

★対象となる論文および単行本3部を送付してください。

(5) 推薦締め切り

2018年2月末日消印有効

2018 年度 日本農業市場学会研究助成の募集について

日本農業市場学会では、学会の将来を担う若手研究者を育成することを目的として、農業・食料市場に関わる諸市場を対象とした優れた研究に助成を行っています。2018 年度の助成の申し込みを下記のとおり受け付けます。若手会員のみなさまの応募をお待ちしています。

- ◆ 助成対象者：2018 年 4 月 1 日時点で 35 歳以下（常勤の教育・研究者を除く）であり、2 年以上の会員資格を有した日本農業市場学会員
- ◆ 助成額：1 研究課題 20 万円以内
- ◆ 採用数：2 件程度
- ◆ 応募締め切り：2018 年 2 月末日消印有効
- ◆ 応募用紙送付先：
〒890-0065 鹿児島県鹿児島市郡元 1-21-24 鹿児島大学農学部 農業市場学分野
日本農業市場学会事務局（豊 智行） 宛
▶ 応募必要書類は学会ホームページからダウンロードできます。
- ◆ 助成決定者となった方は、2019 年 3 月 31 日までに学会事務局に研究助成実績報告書を提出し、報告書提出後 6 カ月以内に研究成果の全部または一部を学会誌「農業市場研究」に論文として提出していただきます。これが遵守されない場合には、助成金の返済を求めることがあります。

日本農業市場学会・研究叢書の企画募集について（継続）

日本農業市場学会では、学会の研究成果を「日本農業市場学会研究叢書」（以下では研究叢書）として刊行してきました。2017 年度の総会でも承認されましたとおり、本年も引き続き研究叢書の刊行事業を実施いたします。研究叢書として共同研究の成果の刊行を希望される会員は、学会事務局まで「日本農業市場学会研究叢書刊行企画書」を提出して下さい。応募は随時受け付けています。

なお、「日本農業市場学会研究叢書刊行企画書」は学会ホームページからダウンロードできます。

日本農業市場学会公開特別研究会について

公開特別研究会「卸売市場の現在と未来を考えるー流通機能と公共性の観点からー」が 2018 年 3 月 30 日（金）に中央大学後楽園キャンパスで開催されます。

案内ポスターを学会ホームページに掲載しました。

アドバイザー制度について

若手会員研究者の『農業市場研究』誌投稿用の学術論文作成を支援する目的で、アドバイザー制度が設置されました。この制度の利用については学会ホームページに掲載準備中です。